

4th Workshop
Department of Material Science and Engineering, National Taiwan
University–Joining and Welding Research Institute, Osaka University

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 国際人材育成部門 特任准教授(常勤)

2019年3月7日(木)、当研究所と国立台湾大学材料科学工学学科との間で国立台湾大学にて”4th MSE-JWRI Workshop on Materials Design and Joining”と題したワークショップを開催しました。本ワークショップは国立台湾大学との間で2年に一度のペースで会場を大阪と台北と交互に設定し開催しているものであり、今回は第4回目の開催となりました。ワークショップには当研究所から7名の教員と5名の大学院生が参加しました。それぞれ国立台湾大学及び当研究所の教員5名ずつが口頭研究発表を実施したほか、午後の始めのセッションではポスター発表として参加している当研究所5名を含む計17名の学生からの3分発表の後に充実した討論が行われ、今回は新たにポスター賞も設けて両大学で計4名が受賞しました。

教員の口頭発表では多数の質問が投げかけられ、

中では今後の国際協働研究への発展が期待できる討議も行われました。学生のポスターセッションでは、どの学生もあまり緊張する様子を見せず、堂々と自らの研究成果について発表を行いました。継続して行われている同ワークショップならではの、アットホームな雰囲気の下、沢山の研究進捗及び成果が共有され、第四回ワークショップも成功裏に終了しました。

国立台湾大学とは継続的にJST さくらサイエンス事業を通じた短期受け入れやインターン生の受け入れ、協働研究の実施などで交流を深めています。本ワークショップを定期的に開催することで、それらの交流がより確実なものとなり、また多方面に展開を見せていることは喜ばしい成果と言えます。今後も更なる国際共同研究の実施と交流の発展を目指し、引き続き密接な交流を行います。

